

半年ほど留守をさせていただきます

グリニッチ福音キリスト教会牧師 立石尚志



ご存知の方も多いかと思いますが、NYで働く駐在員たち同様、私たちが日本のミッション／宣教団から派遣されてこちらで働いています。4年の任期があり、この5月で二期満8年が過ぎましたので、半年間日本に帰り、支援し、祈りに覚えてくださっている教会を巡り、感謝をこめての報告会を行います。期間は6月末から12月第二週まで、全部で90箇所くらい回る予定です。この報告会は次の任期(2012～2015)に向けての準備でもあります。報告スケジュールについては、教会のウェブページにリンクを作っておきますのでご参照ください。日本でグリニッチ便りをお読みの方には是非お会いできたらうれしいです。(妻は子供の学校に合わせ、8月半ばに帰米します)。

黒田朔先生、康子先生が7月から10月半ばまで奉仕してくださいませ!

立石が留守する期間、先頃ハワイのマキキ聖城教会を引退され、無牧の教会やベテランの援助が必要な教会を助けて回る「オタスケマン牧師」の働きをこの4月から始められた黒田朔(さく)先生と奥様の康子先生がグリニッチの働きを助けてくださいます。パリ日本語教会に続き、グリニッチは光栄ある第二カ所目です。お二人とも底抜けに明るい関西人でいらっしや、現牧師とはまた異なった切り口で、神さまの素晴らしさを伝えてくださいます。グリニッチ便りをお読みの方にも是非、黒田先生がいらっしやる間に、お話しを聞きにいらしていただけたら幸いです。グリニッチ便り次号は黒田先生に書いていただきます。



10月第三週以降は、近隣日本語教会の先生方を中心に礼拝のメッセージをお願いすることになっています。裏面にスケジュールを掲載しています。

ミッション・ミッショナリー

立石尚志／牧師・宣教師

改めまして、グリニッチ便りをいつもお読みいただき、ありがとうございます。今回のグリニッチ便りはサンディエゴから書かせていただいています。

こちらはHHH (Hot Humid Hazy) …暑く蒸して霞んでいる北米東海岸NY周辺とは全く異なる乾燥したさわやかな6月を迎えています。青空を背景に立ち並ぶヤシの木たちや紫色の花を豊かに咲かせているジャカラダの木、鮮やかな赤紫のブーゲンビリア、ありとあらゆる形をしたユニークで楽しいサボテンたち、そして太平洋に沈む夕陽。アメリカに移住したい日本人の多くは東海岸よりも西海岸を選ぶのも分かる気がします。

しかし、こちら西海岸の見所の一つで、しかも西海岸の様々な町の名前や歴史を知る上で欠かせないのは、青空に映える美しい白壁の「ミッション」の建物群です。

「Mission/使命」という語意が示す通り、ミッションとは、先住民(かつてインディアンと呼ばれましたが、現在はNative Americansと言います)たちにキリスト教信仰を広める「宣教拠点」のことを指します。西海岸最初のミッションである「サン・ディエゴ・デ・アルカラ」(ここサンディエゴにあります)を皮切りに、1769年より1823年にかけて、現カリフォルニアのサンディエゴからサンフランシスコに至るまで21のミッションがスペイン人フランシスコ修道会士たちにより開かれたのです。

彼らの大半は「信仰の伝播」のために命がけでこの荒野にやって来たのであり、ある者は迫害で命を落とし、病死した者たちもいました。しかし多くのパーデレ(神父)たちは土着の人々から愛され、彼らからの信頼を勝ち取り、信仰の伝播のみならず、ヨーロッパの進んだ農業や産業、教育や医療も彼らを通して導入されるようになりました。これらのミッションにより、半世紀でカルフォルニアは豊かな穀物畑、ぶどう園、牧場に変容して行くことになったのです。

しかし、これらのミッションが強大なスペインの国力を背景に成り立っていたことはまぎれも無い事実です。本来のミッション/使命である先住民のキリスト教化はかなりの度合いで進むことになりましたが、別の角度から見ると、これらのミッションはスペインの国益(後に独立したメキシコ)のために、地域を狩猟採集型からヨーロッパ型/農業集約型に変化させる力として働き、ヨーロッパ人たちの地域支配の道具として使われて行ったという面もあるのです。http://www.missionscalifornia.com/ http://en.wikipedia.org/wiki/Spanish_missions_in_California

ある人々はこれを自然との調和の中で生きていた先住民たちの生活様式を破壊したヨーロッパ人たちの横暴であり、宣教師たちはその先兵でしかなかった、と言うように表現します。しかし、そこには重要な歴史認識の欠落があります。人類史は一時として同じ所に留まってこなかったし、一方通行である、ということです。ヨーロッパのキリスト教文化その物も実は同じ経路を辿って当時のヨーロッパ社会になった訳であり、稲作を導入した渡来人たちは悪であり、稲作前の日本の方が良かったと言うのが殆ど無意味なように、人間が好奇心の固まりであり、より新しいもの、良いもの、効率のいい物を求める性質を持ち続ける限り(つまり人間が人間であり続ける限り)、文化は必ず一つの方向に流れて行き、変化し、見た目にも進歩して行きます。しかし…仮に文化がどう変容し、進歩しているように見えても、人間には有史以来、まったく解決できていない問題があるのです。それは人の罪の問題・・・自己中心、悪の問題です。

これらのミッションが清濁併せ持つ人間の現実のなかで、この罪の問題を「一人一人、個人レベル」で解決するために建てられて行ったこと、もう一度尊敬の思いを持って見つめなおし、グリニッチ教会、また私自身の使命の確認をして行きたいと思われました。■



西海岸最初のミッションである「サン・ディエゴ・デ・アルカラ」

「帰国になります」H. Y. 兄 礼拝での証し

早いもので、私が日本企業の駐在員としてアメリカに来てから2年半が過ぎました。今回が2回目の駐在であることはお知らせしたことがあるかと思いますが、おかげさまで私は日本国外に出ると少しは成長を促されるようです。

一回目の駐在の間に私はかなり碎かれ、罪を認め信仰に導かれるという恵みを受けました。しかし駐在が終了し日本に帰国した後は、いつしか楽な環境に慣れ、また罪深い自己中心な生活にどっぷり漬かっていました。生活は仕事を中心、そして会社の中では駐在時代の経験を生かしたアドバイスを求められることも多く、いつしか若輩ながら偉そうにウンチクをたれることも多くなっていたのではないかと思います。『日本のお父さんは忙しいもんだ』ということ言い訳にして、家のことはかなりの部分を妻に任せっぱなし。信仰生活は教会でメッセージを聞くことが中心となり、半ばルーチン化してしまっていました。ずいぶん神さまから離れた生活を送ってしまっていたな…と反省しています。

再度駐在に来て、改めて私は使えないヤツだなあと再認識させられています。しかし今は、このように考えられること自体が恵みであり、感謝なことです。自己嫌悪と現実逃避しかなかった前回に比べ、それを素直に受け止め、使えないなりに最善を

尽くそうと考えられるようになりました。少しは身の程を知ることができるようになったのでしょうか。

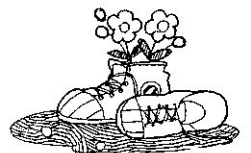
そんなことよりもっと恵みだと思えるのは、アメリカ的なライフスタイルの中、家族と過ごす時間が増えたということです。そしてその中で、妻の大きな献身に気づくことが出来ました。今までずっとそうしてくれてきていたのですが、多少の文句を言いつつも、妻は私に仕え、子供に仕え、また隣人・友人に仕えています。見習うべきはその仕える姿勢です。私などは奉仕などをする際、とかく『やってあげてる』という意識が強く、そのため独りよがりな対応になってしまいます。実は人のために奉仕しているのではなく、自分に仕えていることがよく分かります。妻は人の喜びや改善を第一に願って奉仕することができていると思います。だからこそ人に影響を与えられる。よく人の中にイエス様が見えると言いますが、私は妻のその奉仕の姿勢に、弟子たちに忠実に仕えられたイエス様を見た気がしました。

『キリストに対する畏れをもって、互いに仕え合いなさい (エペソ 5:21)』実はグリニッジ教会に集うようになって、私も少し伝道について真剣に考えるようになってきています。自分には特に語る才能が与えられていないので、今までずっと伝道は難しいものだという意識が強くありまし



た。しかし、ただ仕えるということでも伝道になることをようやく学びました。キリストの存在を感じることができる奉仕ができれば、それはそのまま伝道になっていくのですね。そして仕えられた人が影響され、その結果また別の良い奉仕が生まれるという良い連鎖が起きて行くなら、それ以上の伝道手段はないのだろうと思います。

ただここまでなんとなく悟ったからと言って、まずは自分がその器となるために整えられなければならず、それが目下の私の課題です。間もなく日本に帰国となりますが、今回のアメリカ駐在生活やグリニッジ教会の集会を通して学び、経験したことをもとに、主にある歩みができるよう、これからも祈り求めていきたいと思っています。■



■7月～8月の集会・行事予定■

※ 下記以外にも週の間、入門クラス、聖書の学び会が定期的に行われています。お問い合わせください。

【定例集會】

- ★ 日曜礼拝/10:00~11:30
メッセージは託児室でモニターを通して聞く事ができます。
礼拝後 グループ会/12:15 まで
大人、子供それぞれのクラスに分かれます
- ★ 祈禱会/水曜日 10:00~12:00

【各種集會】

- ★ スタンフォード 聖書を読む会
隔週水曜 1:15pm 場所: 井上宅
- ★ ハートフォード 聖書を読む会
月三回木曜 9:30am 山田宅
月一回木曜 10:30am テイラー宅
月三木曜 7:00pm チョイ宅/男性聖研

- ★ ハリソン 聖書を読む会
隔週火曜 10:00am 場所: ハリソン長老教会
- ★ マウントキスコ 聖書を読む会
毎週水曜 8:00pm 場所: 平野宅
- ★ ハリソン・メンズ・バイブル・フェローシップ
第1, 2, 4 木曜日 8:30pm 場所: 荒木宅

● 夏のバイブルキャンプ 8月15(月)～19(金) 9:00am～12:30pm

St. Paul Lutheran Church との合同キャンプです! <http://jgclmi.com/2011VBS.pdf>

<夏から冬にかけてのグリニッチ教会礼拝メッセンジャースケジュール>

- | | |
|---|-------------------------|
| 7/03 黒田師 (ポコノでのファミリーキャンプ)
※グリニッチでの礼拝はありません | 11/06 錦織師 (NJ 日本語教会) |
| 7/10~10/9 黒田師礼拝メッセージ | 11/13 李 師 (プリンマー日本語教会) |
| 8/21 シュイット師 (Liebenzell Mission USA 主事) | 11/20 中島師 (ラブジョイピース教会) |
| 10/16 中山妙子師 (リーベンゼラ宣教師) | 11/27 パーリング師 (SPLC) |
| 10/23 中山妙子師 (同上) | 12/04 栗栖師 (プリンストン日本語教会) |
| 10/30 ギデオンメッセージ (ギデオン聖書頒布協会) | 12/11 チョー師 (初代日本語教会) |

《教会住所》グリニッチ福音キリスト教会 (Japanese Gospel Church of Greenwich)、牧師 立石尚志

c/o St. Paul Ev. Lutheran Church, 286 Delavan Ave. Greenwich, CT 06830 website: www.jgclmi.com

《問い合わせ》教会 TEL/FAX (203) 531-6450、牧師宅 TEL/FAX (203) 531-1609, e-mail: jgclmi@verizon.net

